日本文学
(Japanese Literature)

担当教員
非常勤講師　瀧本 和成

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	1年次 前期	講義	1.5単位	選択

【概要】
京都は、平安以後日本文学創成の場であり、文学(作品)の宝庫であり続けてきた。近現代文学に於いても、森鷗外「高瀬舟」、夏目漱石「虞美人草」、与謝野晶子「みだれ髪」、志賀直哉「暗夜行路」、中原中也「在りし日の歌」、谷崎潤一郎「細雪」、川端康成「古都」、三島由紀夫「金閣寺」、村上春樹「ノルウェイの森」など数々の文学作品(名作)の舞台となり、また映像においてもクロード・ガ二オン監督作品「Keiko」や大森一樹監督作品「ヒポクラテスたち」など多くの映画作品の舞台ともなっている。そして同時に多くの文人たちの棲家(生活の場)であり、映画人たちの撮影場所ともなっている。本講義では、文芸生成の場としての〈京都〉、文人・映画人たちの住及び撮影所としての〈京都〉など様々な視点から文化･芸術(空間)〈京都〉を考察し、意味づけて行きたい。

【授業の一般目標】
近現代文学のなかで〈京都〉を描いた作品を抽出し、〈京都〉が(作品のなかで)どのように描かれているか、あるいは作家が〈京都〉をどう描いたか、どのようなイメージを持っているか。そうした作者の意識をも探り、近代から現代に至る〈京都〉の位相に迫りつつ、総体として浮かび上がる〈京都〉を把握(認識)することを目標とする。

【準備学習(予習･復習)】
講義はテーマを視野に入れ、作品鑑賞を丁寧に行いますので、作品を読んできてください。

【学習項目･学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	近代文学・芸術文化と〈京都〉	瀧本	近代文学・芸術文化と〈京都〉の特質を把握する。
2	近代文学・芸術文化と〈京都〉	瀧本	近代文学・芸術文化と〈京都〉の位置づけを把握する。
3	水上勉と〈京都〉(1)	瀧本	『雁の寺』 の位置づけを把握する。
4	水上勉と〈京都〉(2)	瀧本	『雁の寺』を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
5	志賀直哉と〈京都〉(1)	瀧本	『暗夜行路』の位置づけを把握する。
6	志賀直哉と〈京都〉(2)	瀧本	『暗夜行路』を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
7	中原中也と〈京都〉(1)	瀧本	『山羊の歌』の特質を把握する。
8	中原中也と〈京都〉(2)	瀧本	『山羊の歌』の位置づけを把握する。
9	中原中也と〈京都〉(3)	瀧本	『山羊の歌』を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
10	川端康成と〈京都〉(1)	瀧本	『古都』 の特質を把握する。
11	川端康成と〈京都〉(2)	瀧本	『古都』の位置づけを把握する。
12	川端康成と〈京都〉(3)	瀧本	『古都』を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
13	梶井基次郎と〈京都〉(1)	瀧本	「檸檬」の特質を把握する。
14	梶井基次郎と〈京都〉(2)	瀧本	「檸檬」を鑑賞し、そのうえで分析を試み、その内容を理解する。
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	『京都　歴史・物語のある風景』	瀧本和成編	嵯峨野書院
参考書	参考書・研究書等は講義中適宜指示する。		

【成績評価方法･基準】
成績評価方法：定期試験80%、平常点20%

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

質問時間：毎水曜日・昼の休憩時間に講師控室にて（事前連絡不要）